

お知らせ

被害者支援に関する相談窓口

【おうみ犯罪被害者支援センター】
▶犯罪被害者サポートテレホン
☎ 077-521-8341
(月~金曜、10:00~16:00)
▶(公社)おうみ犯罪被害者支援センター
☎ 077-525-8103
(月~金曜、10:00~16:00)
【滋賀県警察】
▶警察総合相談電話【県民の声110番】
☎ (短縮ダイヤル) #9110
☎ 077-525-0110
(月~金曜、8:30~17:15)

令和3年度金亀公園・荒神山公園 年間利用調整会議

令和3年度中に、大会・イベントなどで優先的に施設の利用を希望する団体は、申込用紙を提出し、会議にご参加ください。

対象施設
▶金亀公園 (テニスコート、多目的競技場)
※野球場は、令和2年度解体工事実施。多目的競技場は、令和3年度に県の連絡橋工事の施工ヤードとして利用予定のため、利用を制限する期間あり (現在調整中)。
▶荒神山公園 (野球場、テニスコート、多目的広場)
利用条件 次の①~④を全て満たすこと

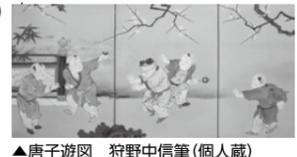
- ①各施設の利用目的に応じたものであること
- ②参加者がおおむね100人以上であること
- ③商行為に該当しないもの
- ④大会準備に相当の時間を要し、通常の申し込みでは実施が難しいもの

申 令和3年1月5日(火) 17:00までに各公園管理事務所にある申込用紙に記入し直接窓口
<調整会議>
④ 令和3年1月9日(土) 10:00
場 子どもセンター (日夏町)
問 高木・技研特別共同体
☎ 21-3923

12月24日(木)まで
「戦に備える-彦根藩の武具管理-」
武士の必需品として大切にされた武具。彦根藩の武具管理の実態を、それを担った人びとを通して紹介します。

令和3年1月1日(金・祝)~2月2日(火)
「子どもをめぐる美術-祈りから遊びまで-」
日本の美術工芸品には、子どもにまつわるさまざまな作品があります。健やかな成長を祈る節句の人形や、吉祥を意味する大勢の唐子(からこ)描く絵画、遊び道具まで、子どもをめぐる営みとそれに関わる多様な作品を紹介します。

■展示解説 令和3年1月9日(土) 14:00~14:40
解説:当館学芸員 場所:講堂
当日受付(先着35人) ※無料(観覧料は別途必要)



▲唐子遊図 狩野中信筆(個人蔵)

常設展示では、井伊家に伝来した名宝を中心に約80点を展示しています。

12月24日(木)まで
紅地変り檜垣地に唐団扇文様厚板唐織
全体に変わり檜垣地を敷き詰め、その上に、梅、牡丹、獅子などをおさめた大ぶりな唐団扇を表します。鬼神の役に相応しい、力強く大様な気分にあふれた一領です。

12月19日(土) 14:00~15:30
「侍中由緒帳」からみえる世界
講師:竹内光久 場所:講堂 当日受付(先着25人)
※100円(市内中学生以下無料、観覧料は別途必要)

■【休館日のお知らせ】12月15日(火)、25日(金)~31日(木)



令和元年度 行政改革の取り組み

市は、長期にわたり持続可能な行財政経営基盤を確立した上で、不断の行財政改革に取り組み、市民サービスの質的向上と活力あるまちづくりを実現することを目標として、令和元年11月に「第5次彦根市行政改革大綱」、令和2年3月に「彦根市行政改革大綱実施計画」を策定しました。取り組みの重点事項と令和元年度の主な取り組み内容は次のとおりです。

健全な財政基盤の確立

歳入確保策の積極的な展開として、彦根市へのふるさと彦根応援寄附をさらに多く受入れるため、ふるさと納税のポータルサイトを3つに増やすとともに、返礼品の拡充を行いました。



働き方・業務改革推進課 ☎ 30-6149 FAX 22-1398

効率的・効果的な行政体制の整備

持続可能な行財政運営の確立として、会議の議事録作成に要する時間の短縮のため、AI(人工知能)を活用した議事録作成支援システムを導入しました。

市民の参画と協働によるまちづくり

持続可能なシティプロモーションを推進するため、戦略の柱である「協働(共創・共走)」「熱を伝える場づくり」「共感を生む情報発信」に沿って、市民がまちの課題に積極的にトライできる環境づくりを目的とした、オープン座談会「Good Roots Meeting」を開催するなど、市民との協働による取り組みを進めました。

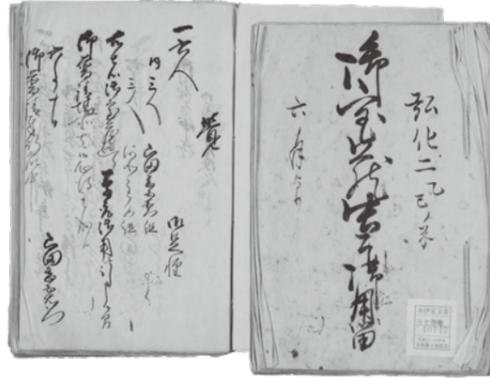


また史料には、この作業に従事するさまざまな人びとが登場します。例えば、虫干し前に御宝蔵周辺の草取りを行う足軽、御宝蔵の武具・道具などを鐘の丸の御守殿へ運び出す中間(藩が召し抱えた武家奉公人)、敷物や着物などをかける衣桁といった虫干しに用いる道具を貸し出す「御作事方」(藩の建築に属する仕事などを担う機関)や「御納戸方」(藩の諸物品管理などを担う機関)などが挙げられます。さらに、この虫干しの期間には武具や茶器の手入れも行われます。

井伊家伝来の彦根藩主の甲冑や刀剣をはじめとする武具は、現在、彦根城博物館の学芸員が中心となって保管していますが、江戸時代はどのように管理されたのでしょうか。ここでは、その一端を垣間見ることができる史料「御宝蔵虫干御用留」を紹介します。

この史料は、御宝蔵(彦根城の本丸東側に位置)にある元藩主の武具や道具などを虫干しするにあたり、弘化2年(1845)から安政5年(1858)に作成された事務文書を「御宝蔵方」(御宝蔵の管理を担う機関)の役人が控えた帳面です。虫干しというのはカビや虫食いなどを防ぐために、書類や衣類などを日に干し風に当てるもので、この帳面によると、彦根藩の御宝蔵では土用入りにあわせて、概ね毎年旧暦の6月から7月頃(現在の7月から8月頃)の約1か月間、本丸南側の鐘の丸にある御守殿(鐘の丸南東側に位置)で虫干しを実施していたことが分かります。

写真の古文書は、テーマ展「戦に備える-彦根藩の武具管理-」で11月27日(金)~12月24日(木)の期間、展示します(12月15日(火)は休館)。



▲御宝蔵虫干御用留

れ、御腰物(藩主の刀剣など)の手入れには研屋が召し出されました。

このように江戸時代には、御宝蔵方の役人を中心にさまざまな人びとが協力することで藩主の武具を保管していました。目に映る作品の魅力だけでなく、作品を陰で支えることした人びとの仕事にも思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

【彦根城博物館学芸員 北野智也】

とよきの玉手箱

博物館からのメッセージ

第291回

お知らせ

広報ひこまちへの広告を募集しています

掲載料 1枠 3万円(1号あたり)
大きさ 縦 45.5mm 横 86mm
申込締切 原則、発行日の1か月前
※詳しくは彦根市ホームページ(右下のQRコード)をご覧ください。ホームページのバナー広告も募集中です。

☎ 30-6103 FAX 22-1398

市の情報をより手軽に入手しよう!

彦根市総合アプリ ひこまち

【主な機能】ごみカレンダー、子育てカレンダー、プッシュ通知、子育て関連機能、災害などのお知らせ など
※アップストア、Google Play(右下のQRコード)から無料ダウンロード可能(通信料は利用者の負担)

☎ 30-6103 FAX 22-1398

イベント・講座
スポーツ
健康・福祉
子育て・教育
文化・芸術
環境・エコ
お知らせ